

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホームおかもと

作成日 : 平成25年3月19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	非常時に活用出来る、施設内の井戸水の周知や防災拠点として、当施設医院における、地域貢献の情報不足、又地震等災害に対する、ヘルメットや非常食等備蓄準備、	非常時等、地域住民の拠点となるように活用出来る。	いつおこりうるか分からない災害に対するの備蓄を早急に準備し、運営推進会議等の場で、行政及び区長、老人会長様を通し、地域の方々に情報を発信していきたい。	3ヶ月
2	4	運営推進会議で意見等があり、問題点の解決は出来ているが、結果報告が行われていない。	問題点の経過結果報告を伝える。	貴重な意見を頂いた際は、理事や職員間で解決に向かい協議し対策を行い、その問題点に対する経過、結果報告を行っていく。	3ヶ月
3	33	終末期、延命治療についての御家族様の意向は事前アンケートにて情報を得ている。今後も意向の変更や気持ちの変化等が無い御家族様との話し合いを重ねて行く必要がある。	細かく、御家族様の意向や御本人様の気持ちを知ることで、パーセン・セントード・ケアを確立し、終末期にかけてのケアや、延命治療の取り組みが出来る。	家族会や、御本人様の身体状態悪化時に、理事長である担当医、管理者等から説明や再確認を今後も行っていく。	適時
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。